

# 第5学年1組 社会科学学習指導案

平成30年12月4日（火）5校時

1 単元名・小単元名 わたしたちの生活と工業生産「これからの工業生産とわたしたち」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

《省略》

(2) 教材観

本単元は、平成23年度施行の学習指導要領の第5学年の目標と内容に基づいて設定した。

目標

(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

内容

(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

本小単元では、これからの日本の工業生産を発展させるためには持続可能な社会を目指すなど、様々な課題の解決が必要であり、わたしたち国民の努力が大切であることを考えることができるようにすることがねらいである。ここでは、日本の工業生産が抱える課題のうち、環境問題やエネルギー問題、貿易の問題を中心に扱っていく。また、次期学習指導要領を見据え、第5学年の内容(3)のア(ウ)、イ(ウ)も踏まえて、貿易や運輸に関することについての理解を深め、それらの役割を考え、表現する中で、特に海運の働きを取り上げる。こうした観点から工業生産の現状と課題点を把握し、これからどのようにしていくことが工業の発展につながるのかについて多面的・多角的に捉えさせる。また、日本の工業生産の発展を自分事としてとらえ、社会参画の意識の醸成をねらい、諸問題について、自分の考えを表現する学習活動を取り入れる。

さらに、持続可能な開発目標(SDGs)の⑦エネルギー、⑧成長・雇用、⑨イノベーションの視点を盛り込むことで、持続可能な社会を構築するための教材の一つとして本小単元を扱うことができる。国際社会が抱える問題について、社会の一員として児童に考えさせ、主体的に学びに向かっているようにすることで、社会的事象についての思考力や表現力をより育てることができると考える。

(3) 指導観

本小単元では、日本の工業の課題を調べる活動を通して、その課題点を知り、解決策を考え、現代社会において自分も社会の一員であるという意識が芽生えるようにする。そのために、グラフを始めとした資料を基に自ら問題を見つけ、予想を立て、調べ学習を行い、学習問題の結論を見出す。さらにこれまでの学習経験を生かして、運輸の役割について考えることで、工業の発展により多面的に迫る。

展開にあたっては、「つかむ」過程において、数ある日本の工業の課題の中から、環境問題、エネルギー問題、海外との関係(輸出入)に視点をしぼり、グラフなどの資料を用いて現代社会における工業の課題を読み取り、学習問題を立てる。また、学習問題について予想するとともに、調べることを整理して学習の見通しがもてるように学習計画を立てる。

次の「調べる」過程では、環境問題、エネルギー問題、海外との関係(輸出入)の観点から学習問題に迫る。各種資料を活用して社会的事象に対する知識・理解を深めさせたい。さらにこれまでの学習経

験（食料生産、本単元）で考えてきた運輸の面に目を向け、「どのように輸送されているのか」ということを学習問題解決のための新たな問いとして扱い、調べていく。その中で、「船による輸送が止まってしまったらどうなるか」ということをジャンプの課題として示し、海運の働きや重要性について考えさせ、社会的な思考力・判断力を身に付けさせるとともに、学習問題に迫る一つの側面として捉えさせる。

最後の「まとめる・生かす」過程では、調べてきたことをもとに、学習問題に対する結論を導き出す。その際、思考ツールを用い、工業生産について多面的・多角的に考えさせ、社会について深く理解させることで、社会とかかわる児童の育成を目指したい。また、工業の特色カルタ作りを行い、工業生産に関する視点を焦点化し、その特色を捉えることができるようにさせたい。

### 3 小単元の目標と指導計画

#### (1) 知識の構造図

〔学習指導要領の「内容」との関連〕

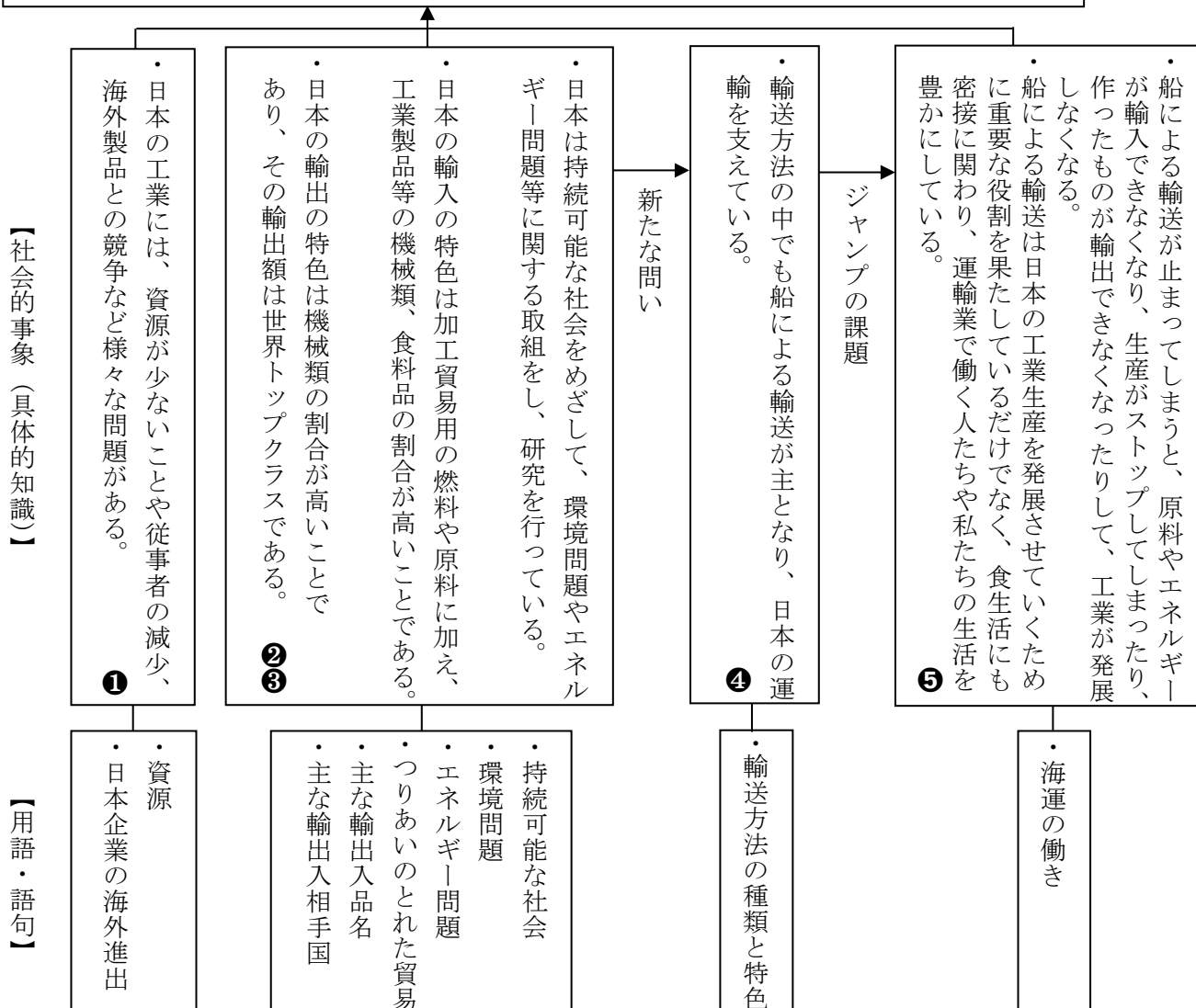
#### ○内容（3）

我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

#### 【中心概念（概念的知識）】

日本の工業生産を発展させていくには、輸入と輸出のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取組を進めるなど、様々な課題の解決が必要である。 ⑥



(2) 小単元の目標と評価規準

日本の工業生産の発展について関心をもち、意欲的に調べ、日本の工業生産を発展させていくためには様々な課題の解決が必要であり、わたしたち国民の努力が大切であることを理解する。また、日本の工業生産の現状と課題から学習問題を見だし、統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して調べたことを作品にまとめるとともに、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて思考・判断したことを適切に表現する。

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料 活用の技能	エ 社会的事象につ いての知識・理解
<p>①日本の工業生産の発展に関心をもち、日本の工業生産の現状や課題について意欲的に調べようとしている。</p> <p>②日本の工業生産の発展に関心をもち、これからの工業生産の発展や持続可能な社会の実現について考えようとしている。</p>	<p>①日本の工業生産の現状と課題から、工業生産の発展について学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。</p> <p>②運輸の働きについて考え、海運の重要性について表現している。</p> <p>③工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて、思考・判断したことを適切に表現している。</p>	<p>①統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して、日本の工業生産の現状や課題について必要な情報を集め、読み取っている。</p>	<p>①日本の工業生産の現状と課題について理解している。</p> <p>②日本の工業生産を発展させるためには、輸出入のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取組を進めるなど、様々な課題の解決が必要だと理解している。</p>

(3) 指導計画と評価計画（6時間扱い）

	学習活動・学習内容	評価規準 〈 〉 評価方法
つ か む	<p>①これからの日本の工業の発展に関心をもち、課題について話し合い、学習問題を立て、予想する。①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と環境に優しいもの作りが必要であること</li> <li>・エネルギー、資源を確保すること</li> <li>・製造業で働く人が減っていること</li> <li>・国際競争力が低下していること</li> <li>・海外進出する日本企業が増えていること</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【学習問題】</b> これからの工業生産を発展させるためには、どのようなことが必要だろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題に対する予想を考えること</li> <li>・予想を確かめる学習計画を立てること</li> </ul>	<p>関①：日本の工業生産の発展に関心をもち、日本の工業生産の現状や課題について意欲的に調べようとしている。 〈発言・態度〉</p> <p>思①：日本の工業生産の現状と課題から、工業生産の発展について学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 〈発言・ワークシート〉</p>

調 べ る	<p>②「環境問題」「エネルギー問題」「海外との関係（輸出入）」に関する資料を分担して調べる。②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に関する取組を知ること</li> <li>・エネルギー問題に関する取組を知ること</li> <li>・持続可能な社会を目指すということ</li> <li>・加工貿易について知ること</li> <li>・食料もたくさん輸入していること</li> <li>・国内の産業を守るために関税をかけていること</li> <li>・高い技術力があるということ</li> </ul>	<p>技①：統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して、日本の工業生産の現状や課題について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>〈発言・ワークシート〉</p> <p>知①：日本の工業生産の現状と課題について理解している。</p> <p>〈発言・ワークシート〉</p>
	<p>③「環境問題」「エネルギー問題」「海外との関係（輸出入）」の読み取りを交流し、新たな問いを立てる。③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を目指すということ</li> <li>・加工貿易について知ること</li> <li>・どのように輸送されているのかという疑問をもつこと</li> </ul>	<p>思③：工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて、思考・判断したことを適切に表現する。</p> <p>〈発言・ワークシート〉</p>
	<p>④輸送方法の種類とその特徴について調べ、交通網の広がりについて調べる。④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送の種類とその割合について知ること</li> <li>・輸送方法の特徴について知ること</li> <li>・交通網の広がりについて知ること</li> </ul>	<p>関②：日本の工業生産の発展に関心をもち、これからの工業生産の発展や持続可能な社会の実現について考えようとしている。</p> <p>〈発言・ワークシート〉</p>
	<p>⑤海運の働きと重要性について知り、工業の発展のために必要だということを考える。⑤（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船による輸送が止まってしまうと、起こり得る問題について考えること</li> <li>・工業を発展させるためには輸送の面も考える必要があるということ</li> </ul>	<p>思②：運輸の働きについて考え、海運の重要性について表現している。</p> <p>〈発言・ワークシート〉</p>
ま と め る ・ い か す	<p>⑥調べたことを基に、学習問題の答えを導き出し、工業の特色カルタ作りを行う。⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題についての結論を構築すること</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習問題の結論 例】</p> <p>日本の工業生産を発展させていくためには、輸出入のバランスをとり、国内産業を守りながら、日本の技術を世界に広めることが必要である。そのためにも輸送の整備を行い、進歩させることが必要である。また、環境や人のことを考えたものづくりを行い、エネルギーを有効活用する、持続可能な社会を目指すための取組を進める等の課題を解決することも必要だ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業の特色をカルタにまとめること</li> </ul>	<p>知②：日本の工業生産を発展させるためには、輸出入のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取組を進めるなど、様々な課題の解決が必要だと理解している。</p> <p>〈発言・ワークシート〉</p> <p>思③：工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて、思考・判断したことを適切に表現する。</p> <p>〈カルタ〉</p>

4 本時の学習指導（5/6時）

(1) 目標

運輸の働きについて考え、海運の重要性について表現する。

【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開

学習活動	学習内容	・指導上の留意点と創意工夫 ★協同的な学びを意識した留意点と創意工夫	資料・準備	時間
1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。	○学習課題の把握	・前時までの学習内容を振り返る。 ・本時の学習の流れを確認し、見通しをもたせる。		3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>課 (①)もしも船による輸送が止まったら、日本の工業にどのような影響があるだろうか。 (②)また、船の輸送はわたしたちの生活とどのように関わっているのだろうか。</p> </div>				
2 既習事項を振り返り、課題①に対する自分の考えをもつ。	○既習事項の意識化  ○課題に迫るための視点 ・原料の輸入ができずに工業生産が止まること ・輸入品がなくなると生活が困ること（食料面、エネルギー面） ・輸出ができないと国益が上がらないこと ・雇用がなくなること	・食料の輸入についても想起させる。 ・輸送方法の種類や割合について振り返る。 ・海上輸送の説明や海上輸送を経た品物を取り除いたコンビニの様子などの動画を見せる。 ・思考ツールを用いて、自分の考えを整理させる。 ・思考が止まってしまう児童に対しては、輸出や輸入がどうなるか、その結果どうなっていくのかと考えさせる。 ・既習事項を踏まえて考えさせる。 ★個人で考える時間とするが、近くの児童との聞き合いは自由に行わせる。 ・工業生産の面に限らず、多面的、多角的に考えさせる。	・グラフ ・日本船主協会のHPより「日本の海運」（2014年6月）  ・思考ツールプリント（フィッシュボーン図） ・付箋	10
3 グループを作り、課題①に対する考えをまとめる。	○複数意見の関連付け ○課題に対する考えのまとめ	・思考ツールにまとめた自分の考えを付箋を使って説明させる。 ・説明がうまくできない児童に対しての支援をしていく。  ・グループの児童と考えを共有し、課題を多面的、多角的に見ることができるようさせる。 ・思考ツールを用いて、グループで考えを1つにまとめさせる。	・フィッシュボーン図拡大版 ・ホワイトボード用ペン	15

<p>4 グループでまとめた課題①に対する考えを説明する。</p>	<p>○課題に対する考えの共有化</p>	<p>★4人グループ (T字型) ★考えが停滞したグループに支援していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで思考ツールにまとめた考えをテレビに映して説明させる。</li> <li>・交流した意見を基にフィッシュボーン図を黒板に作り、共有化を図る。</li> </ul> <p>★自分たちが考えられなかった意見は、書き込ませる。</p> <p>★学級全体で意見を共有することにより、考えることができなかった意見についても深めることができるようにする。</p> <p>★児童の意見を繋げられるように留意する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV</li> <li>・タブレット端末</li> </ul>	<p>8</p>
<p>(例)船による輸送が止まってしまうと、原料やエネルギーが輸入できなくなり、生産がストップしてしまったり、作ったものが輸出できなくなったりして、工業が発展しなくなる。</p>				
<p>5 課題②に対する答えを導く。</p>	<p>○学習課題の答え ・自分の考えを深めること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題②を示す。</li> <li>・これまでの学習を想起させ、多角的に考えさせる。</li> </ul> <p>★個人で考える時間とするが、近くの児童との聞き合いは行わせる。</p>		<p>5</p>
<p>(例)船による輸送は日本の工業生産を発展させていくために重要な役割を果たしているだけでなく、食生活にも密接に関わり、運輸業で働く人たちや私たちの生活を豊かにしている。</p>				
<p><b>評</b> 運輸の働きについて考え、海運の重要性について表現する。 【思-②】〈発言・ワークシート〉</p> <p>B基準→A基準への支援 クラスで交流した意見を基に、様々な視点から海運の重要性を表現していくように助言を行う。</p> <p>B基準に達しない→B基準への支援 グループで話し合われた内容やクラスで共有した内容に着目させたり、思考ツールを確認させたりして、自分の考えを書くように助言を行う。</p>				

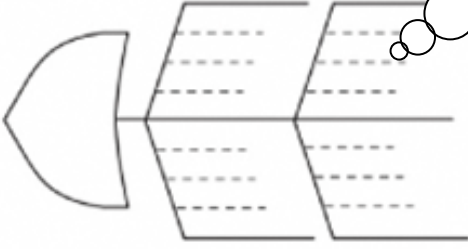
6 本時のまとめと振り返りをする。	○学習課題の答え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の意見を紹介し、多面的、多角的に社会的事象を考えていくことを確認させる。</li> <li>・ 課題を振り返り、自分の考えの深まりに気付かせる。</li> <li>・ 本を紹介し、児童に価値を広げることを促す。</li> </ul>	・ 本	3
7 次時の予告を聞く。	・ 次回の学習内容を知ること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギー、環境、輸出入、運輸などの面から学習問題の結論を導いていくことを知らせ、意欲を次時につなげる。</li> </ul>		1

(3) 板書計画

12/4 課 もしも船による輸送が止まったら、日本の工業にどのような影響があるだろうか。

また、船の輸送はわたしたちの生活とどのように関わっているのだろう。

資 料



(まとめる例)

- ・ 原料の輸入ができずに工業生産が止まること
- ・ 輸入品がなくなると生活が困ること
- ・ 輸出ができないと国益が上がらないこと
- ・ 雇用がなくなること

ま 船による輸送は日本の工業生産を発展させていくために重要な役割を果たしているだけでなく、食生活にも密接に関わり、運輸業で働く人たちや私たちの生活を豊かにしている。